



4/10
(金)

転入学校職員宣誓式 決意新たに41人着任

令和2年度転入学校職員宣誓式が、4月10日、指江庁舎大ホールであり、今年度から町内に配属となった教職員が決意を新たにしました。

対象の教職員は、小中学校や教育委員会に41人。式では新型コロナウイルス感染拡大を受け、出席者を減らし職員同士の間隔を空けるなど予防策を取って行われました。

大浦慶子教育長が「子どもたちの教育に情熱を持って取り組んでほしい」とあいさつし、転入者を代表して平尾小学校の河野裕通教諭が「教育公務員の職務と責任を自覚し、誠実かつ公正に職務を執行します」と力強く宣誓しました。



宣誓する河野教諭

4/6
(月)

小中学校入学式 マスク姿でも元気よく

町内の小学校7校と中学校5校で4月6日、入学式がありました。今年度の新入生は小学校97人、中学校122人です。新型コロナウイルス感染症予防のために、各校では出席者を新入生と教職員、保護者に限り、時間を例年より短縮して実施されました。

蔵之元小学校(肥後広行校長・57人)では、保護者らの拍手を受けながらマスクを着けた新入生6人が入場。式辞で肥後校長が「学校生活でたくさんのことを学んで、心も体も丈夫に育てほしい」とあいさつしました。

新入生の坂口朝柊君は「かけっこを頑張って、大きなプールで泳ぎたい」と学校生活の楽しみを笑顔で話しました。



間隔を空けて整列し、式に臨む新入生

4/10
(金)

鴨川さんが農林水産大臣賞受賞 外海でのブリ養殖技術を確立

第25回全国青年・女性漁業者交流大会において、外海でのブリ養殖技術確立の成果を発表した、東町漁協の鴨川一平さん(伊唐)が、農林水産大臣賞を受賞しました。

平成21年と22年に本町で起こった大規模赤潮被害を機に、鴨川さんは一念発起。同組合員とともに赤潮が発生しない本町

南西部の多々羅島沖でブリ養殖を開始し、安定的な出荷につなげてきました。

4月10日、役場で鴨川さんは川添町長に受賞を報告し「外海での養殖をさらに増やし、次の世代にもバトンタッチできるよう取り組んでいけたら」と笑顔で話しました。



今後も水産業貢献を誓う鴨川さん(写真中央)